

食品安全委員会の運営について（平成28年10月～12月）

1. 食品安全委員会の開催

10月：第624回～第627回

（1）食品健康影響評価の要請案件

農薬（6品目）	・アミノシクロピラクロル ・シアナジン ・ピラジフルミド ・フルチアセットメチル ・プロシミドン ・ミクロブタニル
動物用医薬品（3品目）	・豚繁殖・呼吸障害症候群生ワクチン（フォステラPRRS） ・ガミスロマイシン ・ガミスロマイシンを有効成分とする豚の注射剤（ザクトランメリアル）
遺伝子組換え食品等（1案件）	・JPAo001株を利用して生産されたリパーゼ
飼料添加物（1品目）	・<i>Schizosaccharomyces pombe</i> ASP595-1株が生産する6-フィターゼ

（2）食品健康影響評価の結果通知案件

農薬（4品目）	・イソフェタミド <u>ADIを0.053 mg/kg 体重/日、ARfDを3 mg/kg 体重と設定。</u> ・シクラニリプロール <u>ADIを0.012 mg/kg 体重/日と設定し、ARfDは設定する必要がないと判断。</u> ・フェナザキン <u>ADIを0.0046 mg/kg 体重/日、ARfDを0.1 mg/kg 体重と設定。</u> ・フルトラニル <u>ADIを0.087 mg/kg 体重/日と設定し、ARfDは設定する必要がないと判断。</u>
動物用医薬品、飼料添加物及び農薬（1品目）	・オキシテトラサイクリン、クロルテトラサイクリン及びテトラサイクリン <u>オキシテトラサイクリン、クロルテトラサイクリン及びテトラサイクリンのグループADIを0.03 mg/kg 体重/日、オキシテトラサイクリンのARfDを0.03 mg/kg体重と設定。</u>

飼料添加物（１品目）	・ <i>Schizosaccharomyces pombe</i> ASP595-1株が生産する6-フィターゼ <u>飼料添加物として適切に使用される限りにおいて、食品を通じてヒトの健康に影響を与える可能性は無視できると考えられる。</u>
------------	---

（３）その他

- ・ 食品安全関係情報（８月27日～９月９日収集分、９月10日～９月30日収集分）について報告
- ・ 平成28年度食品健康影響評価技術研究の追加公募における採択課題について決定

11月：第628回～第631回

(1) 食品健康影響評価の要請案件

農薬（5品目1案件）	・カズサホス ・クロラントラニリプロール ・フルチアニル ・ヘキサコナゾール ・メタフルミゾン ・飼料用農作物残留に係る農薬登録保留基準等の見直し
動物用医薬品及び飼料添加物（1品目）	・タイロシン
遺伝子組換え食品等（2品目）	・PRF株を利用して生産されたホスホリパーゼC ・除草剤グリホサート耐性セイヨウナタネDP-073496-4並びに除草剤グルホシネート耐性及び稔性回復性セイヨウナタネRF3を掛け合わせた品種

(2) 食品健康影響評価の結果通知案件

添加物（1品目）	・ステアリン酸マグネシウム <u>添加物として適切に使用される場合、安全性に懸念がないと考えられ、ADIを特定する必要はないと判断。</u>
農薬（2品目1案件）	・ヘキサコナゾール <u>平成21年10月8日付け委員会決定の1の（1）に当たるものとして、食品安全基本法第11条第1項第2号の人の健康に及ぼす悪影響の内容及び程度が明らかであるときに該当すると認められる。</u> ・飼料用農作物残留に係る農薬登録保留基準等の見直し <u>食品安全基本法第11条第1項第2号の人の健康に及ぼす悪影響の内容及び程度が明らかであるときに該当すると認められる。</u> ・スピネトラム <u>ADIを0.024 mg/kg 体重/日と設定し、ARfDは設定する必要がないと判断。</u>
動物用医薬品（2品目）	・ペグボビグラスチム <u>ADIを特定する必要はない。</u> ・ジクラズリル <u>ADIを0.03 mg/kg 体重/日と設定。</u>
動物用医薬品及び飼料添加物（1品目）	・タイロシン <u>ADIを0.005 mg/kg 体重/日と設定。</u>

遺伝子組換え食品等（1品目）	・NZYM-LP株を利用して生産されたホスホリパーゼ <u>「遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物の安全性評価基準」に基づき評価した結果、ヒトの健康を損なうおそれはないと判断。</u>
----------------	---

（3）その他

- ・食品安全関係情報（10月1日～10月14日収集分、10月15日～11月11日収集分）について報告
- ・平成29年度食品安全モニター募集について説明

12月：第632回～第633回

(1) 食品健康影響評価の要請案件

農薬（6品目1案件）	・クロルプロファム ・シアゾファミド ・ジフェノコナゾール ・シフルメトフェン ・ピリフルキナゾン ・フェンブコナゾール ・食品衛生法（昭和22年法律第233号）第11条第1項の規定に基づき定められた、食品、添加物等の規格基準（昭和34年厚生省告示第370号）の2,4,5-T試験法、ダミノジッド試験法の改正
農薬及び添加物（1品目）	・プロピコナゾール
動物用医薬品（1品目2案件）	・食品衛生法（昭和22年法律第233号）第11条第1項の規定に基づき定められた、食品、添加物等の規格基準（昭和34年厚生省告示第370号）のマラカイトグリーン試験法の改正 ・スピラマイシン ・動物用ワクチンの添加剤として使用する成分（9成分）

(2) 食品健康影響評価の結果通知案件等

農薬（4品目1案件）	・クロルプロファム <u>平成21年10月8日付け委員会決定の1の（1）に当たるものとして、食品安全基本法第11条第1項第2号の人の健康に及ぼすに該当すると認められる。</u> ・アセフェート <u>ADIを0.0024 mg/kg 体重/日、ARfDを0.1 mg/kg 体重と設定。</u> ・ブプロフェジン <u>ADIを0.009 mg/kg 体重/日、ARfDを0.5 mg/kg 体重と設定。</u> ・メタミドホス <u>ADIを0.00056 mg/kg 体重/日、ARfDを0.003 mg/kg 体重と設定。</u> ・食品衛生法（昭和22年法律第233号）第11条第1項の規定に基づき定められた、食品、添加物等の規格基準（昭和34年厚生省告示第370号）の2,4,5-T試験法、ダミノジッド試験法の改正 <u>食品安全基本法第11条第1項第1号の食品健康影響評価を行うことが明らかに必要でないときに該当することを確認。</u>
動物用医薬品（2品目1案件）	・食品衛生法（昭和22年法律第233号）第11条第1項の規定に基づき定められた、食品、添加物等の規格基準（昭和34年厚生省告示第370号）のマラカイトグリーン試験法の改正

	<u>食品安全基本法第11条第1項第1号の食品健康影響評価を行うことが明らかに必要でないときに該当することを確認。</u> ・スピラマイシン <u>食品安全委員会が既に食品健康影響評価の結果を有している評価対象について、食品安全基本法第24条の規定に基づき意見を求められた場合の取扱いについて」の1の(1)の「委員会が、関係各大臣から提出された資料等により新たな科学的知見の存在を確認できないとき」に該当し、食品安全基本法第11条第1項第2号に該当する。</u> ・ガミスロマイシン <u>ADIを0.01 mg/kg 体重/日と設定。</u>
--	---

(3) その他

- ・ 食品安全モニターからの随時報告（平成28年4～9月分）について報告

2. 専門調査会の運営

調査会名		開催回数	調査審議案件
企画等		1 回	- 平成28年度食品安全委員会運営計画の実施状況の中間報告について - 平成28年度食品安全委員会が自ら行う食品健康影響評価の案件候補の選定について
添加物		3 回	加工助剤に関する食品健康影響評価指針
農薬	幹事会	3 回	- EPN - ジノテフラン - トリホリン - ピリダリル - メタアルデヒド - キャプタン - ホルペット - DCIP - ピリベンカルブ - フェンキノトリオン - フロメトキン - マンジプロパミド - メピコートクロリド - アセフェート - ブプロフェジン - メタミドホス - シアナジン - フルチアセツメチル - 農薬の食品健康影響評価における肝肥大の取扱いについて
	評価第一部会	2 回	- メピコートクロリド - シアナジン - ピリベンカルブ
	評価第二部会	3 回	- ピリダリル - メタアルデヒド - フェンキノトリオン - フルベンジアミド - バリダマイシン - フルベンジアミド - ミクロブタニル
	評価第三部会	3 回	2,4-D - DCIP - マンジプロパミド - フロメトキン - ピラジフルミド
動物用医薬品		3 回	- ジシクラニル - 豚繁殖・呼吸障害症候群生ワクチン(フォステラPRRS) - 酢酸メレンゲステロール

微生物・ウイルス	1 回	・平成27年度終了食品健康影響評価技術研究の報告「低水分含量食品中における食中毒最近（サルモネラ、腸管出血性大腸菌）の菌数変動および生存確率予測モデルの開発」
プリオン	1 回	・オーストリアから輸入される牛、めん羊及び山羊の肉及び内臓
かび毒・自然毒等	3 回	・フモニシン ・佐賀県及び佐賀県内事業者が提案する養殖から提供まで管理された方法により取り扱われる養殖トラフグの肝臓
遺伝子組換え食品等	2 回	・除草剤ジカンバ及びグルホシネート耐性トウモロコシ MON87419系統（食品） ・JPAo001株を利用して生産されたリパーゼ ・除草剤グリホサート耐性セイヨウナタネDP-073496-4 並びに除草剤グルホシネート耐性及び稔性回復性セイヨウナタネRF3を掛け合わせた品種 ・PRF株を利用して生産されたホスホリパーゼC
新開発食品	2 回	・ピュアカム葉酸 ・ピュアカム葉酸MV ・松谷のミニビスケット
肥料・飼料等	2 回	・ガミスロマイシン ・ガミスロマイシンを有効成分とする豚の注射剤（ザクトラン メリアル） ・ナナフロシン ・サラフロキサシン
栄養成分関連添加物WG	3 回	・栄養成分関連添加物に関する食品健康影響評価指針
薬剤耐性菌WG	2 回	・家畜に使用する硫酸コリスチン ・ガミスロマイシンを有効成分とする豚の注射剤（ザクトラン メリアル）
評価技術企画WG	1 回	・(Q) SAR及びRead acrossの実際

3. 意見交換会の開催等

(1) 意見交換会（全4回）

開催日	開催地	意見交換会名	共催団体
10/12	那覇市	食品安全委員会in那覇市 食品安全の正しい基礎知識を学ぼう	那覇市
10/24	大津市	食品安全リスクコミュニケーター育成講座（食品添加物とリスク）	大津市
12/20	兵庫県	食品に関するリスクコミュニケーション 「牛海綿状脳症（BSE）対策の見直しに関する意見交換会」	消費者庁 厚生労働省 農林水産省
12/22	東京都	食品に関するリスクコミュニケーション 「牛海綿状脳症（BSE）対策の見直しに関する意見交換会」	消費者庁 厚生労働省 農林水産省

(2) 講師派遣（全13回、うち委員7回）

開催日	開催地	講演会名	依頼元
10/8	北海道	食品の安全と健康～子どもの健やかな成長を願って～ *佐藤委員長	日本養護教諭教育学会第24回 学術集会学会
10/13	長崎県	食品の安全・安心リスクコミュニケーション *堀口委員	長崎県
10/14	長崎県	食品の安全・安心リスクコミュニケーション *堀口委員	長崎県
10/20	佐賀県	食の安全・安心講習会～みんなで取り組む食の安全・安心～	佐賀県
10/27	宮城県	家庭における食品のリスク要因 *石井委員	宮城県
10/29	東京都	第12回練馬区食の安全・安心シンポジウム 健康食品を正しく知ろう	練馬区保健所
11/7	奈良県	食の安全懇談会 いわゆる「健康食品」について	奈良県生活協同組合連合会

11/10	東京都	2016年度食品安全セミナー いわゆる「健康食品」について	日本生活協同組合連合会
11/16	宮城県	平成28年度食の安全安心セミナー 誰もが食べている化学物質 *村田委員	宮城県
11/30	埼玉県	リスクコミュニケーション研修会 食品中の化学物質～アクリルアミド～ *村田委員	埼玉県
12/ 1	東京都	International Symposium of Mycotox- icology 2016 Food Safety risk assessment on myco- toxins *熊谷委員	日本マイコトキシン学会
12/15	神奈川県	平成28年度第7回かながわ食の安全・安 心講座 食品添加物のリスク評価	神奈川県
12/21	青森県	食品のリスクコミュニケーション 栄養学科 特別講義	青森県立保健大学

(3) リスクアナリシス（分析）連続講座 開催なし

4. 情報提供

(1) Facebook

委員会の活動や食品を通じて健康に被害を及ぼすおそれのある情報、国民の関心が高い食品安全に関する情報についての補足説明等について、機動的な情報提供

■10月（10記事・閲覧数約31,300件/月）

投稿日	記事内容
3	報道関係者との意見交換会
5	ラジオ特別講義「食の安全と環境汚染物質～メチル水銀を例に～」(佐藤委員長出演)
6	食品安全委員会in豊田市 食品の安全を考えるフォーラム
7	平成28年度JICA研修
17	平成28年度 第1回全国食品安全連絡会議の開催(10月13日)
19	消費者団体との意見交換会開催
25	季刊誌『食品安全』第48号発行
25	大津市食の安全講座で講義
28	メルマガ【読み物版】BSE国内対策見直し
31	訪問学習(慶應大学の医学生 10月28日)

■11月（17記事・閲覧数約40,400件/月）

投稿日	記事内容
1	[告知]委員会開催について(11月8日(火))は開催しません)
	ドイツ連邦リスク評価研究所(BfR)が食品中のピロリジジナルカロイド(PA)に係る意見書を公表しました
	腸管出血性大腸菌O157による食中毒を疑う事案が発生しました
4	11月は「薬剤耐性（AMR）対策推進月間」です
9	毒キノコによる食中毒予防のポイントを更新しました
10	佐藤委員長がポルトガル経済食品安全庁（ASAE）を訪問しました
16	ブース出展(日本環境変異原学会)
	有害植物(チョウセンアサガオ)による食中毒に注意
22	メルマガ【読み物版(臨時号)】腸管出血性大腸菌O157による食中毒(訂正版)
24	薬剤耐性菌「コリスチン」評価結果(案)
25	10月5日の再投稿 ラジオ特別講義「食の安全と環境汚染物質～メチル水銀を例に～」(佐藤委員長出演)
	メルマガ【読み物版】「薬剤耐性菌」について知ろう
28	メルマガ【読み物版(臨時版)】魚介類に含まれるメチル水銀
	高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜確認(青森県)
29	高病原性鳥インフルエンザ(青森県及び新潟県)
	[告知]委員会開催について(12月6日(火))は開催しません)
30	高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認(新潟県2例目)

■12月（16記事・閲覧数約53,800件/月）

投稿日	記事内容
1	平成29年度「食品安全モニター」募集！
2	ホームページ更新（鳥インフルエンザ）
	高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認（青森市）
1 3	日ASEAN医療分野招へいプログラム
1 4	ホームページ更新（ノロウイルスによる食中毒予防のポイント）
1 6	メルマガ【読み物版】ノロウイルス食中毒に気を付けよう〔1〕
1 6	高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認（北海道）
2 0	高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認（宮崎）
2 0	[告知]委員会開催について（12月27日（火）は開催しません）
2 1	妊娠に際しての葉酸サプリメントの安全性評価の基本的考え方をまとめました
2 2	報道関係者との意見交換会
2 2	英文電子ジャーナル Vol. 4, No. 4 の公開
2 2	メルマガ【読み物版】ノロウイルス食中毒に気を付けよう〔2〕
2 6	野生のクマ肉による集団食中毒が発生しました
2 7	高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認（熊本県）
2 8	年末年始ご挨拶

(2) ブログ

メルマガジン【読物版】や健康に影響を及ぼすおそれのある危害に関する情報提供

■10月（2記事・閲覧数約2,000件/月）

配信日	記事内容
25	季刊誌『食品安全』第48号を発行しました
28	メルマガ【読み物版】牛海綿状脳症(BSE)国内対策の見直しに係る食品健康影響評価

■11月（8記事・閲覧数約2,600件/月）

配信日	記事内容
1	腸管出血性大腸菌O157による食中毒を疑う事案が発生しました
16	チョウセンアサガオによる食中毒にご注意ください！
22	メルマガ【読み物版】[臨時号] 腸管出血性大腸菌O157関連(改訂版)
25	メルマガ【読み物版】「薬剤耐性菌」について知ろう
28	メルマガ【読み物版】[臨時号] 魚介類に含まれるメチル水銀
28	高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認(青森県)
29	メルマガ【読み物版】[臨時号] 鳥インフル(青森及び新潟)
30	高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認(新潟2例目)

■12月（7記事・閲覧数約2,700件/月）

配信日	記事内容
1	平成29年度の食品安全モニター
2	高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認（青森県青森市）
1 6	メルマガ【読み物版】ノロウイルス食中毒に気をつけよう[1]
1 6	高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認（北海道）
2 0	高病原性鳥インフルエンザ（宮崎県）
2 2	メルマガ【読み物版】ノロウイルス食中毒に気をつけよう[2]
2 7	高病原性鳥インフルエンザに関する情報（熊本県）

(3) メールマガジン【読物版】(約1万人に配信)

実生活に役立つ食品安全に関する情報を分かりやすく解説した情報等の提供

配信月	配信記事	記事内容
1 0	牛海綿状脳症(BSE)国内対策の見直しに係る食品健康影響評価(健康と畜牛のBSE検査の廃止)	牛海綿状脳症(BSE)国内対策の見直しに係る食品健康影響評価(健康と畜牛のBSE検査の廃止)の経緯等の紹介
1 1	「薬剤耐性菌」について知ろう	「薬剤耐性菌」に関する基本的情報及び薬剤耐性菌に関する食品健康影響評価についての情報の紹介
1 2	ノロウイルス食中毒に気を付けよう	ノロウイルス食中毒の予防対策のポイント等の紹介

臨時号

配信月日		配信記事
1 1	2 2	腸管出血性大腸菌O157関連(改訂版)
1 1	2 8	魚介類に含まれるメチル水銀
1 1	2 9	青森県及び新潟県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認について
1 2	1	新潟県上越市における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認について
1 2	2	青森県における新たな高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認について
1 2	1 7	北海道における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認について
1 2	2 0	宮崎県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認について